

会 議 録

会議の名称	第2回多目的屋外スポーツ施設設置に関する市民懇談会
開催日時	令和6年1月26日（金）19時00分～20時30分
開催場所	富士見市役所2階 市長公室
出席者	神谷和義座長、與那覇大地委員、石川京子委員、栗田宗保委員、三上和広委員、仲尾忠雄委員、田坂佳宏委員、栗名武尊委員、水野舜委員 事務局（文化・スポーツ振興課）
欠席者	大澤辰雄委員
会議資料	資料1 多目的屋外スポーツ施設整備に係る基本計画（案）について
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	神谷座長

＜第2回多目的屋外スポーツ施設設置に関する市民懇談会＞

1 開会

2 あいさつ

3 議題

（1）多目的屋外スポーツ施設整備に係る基本計画（案）について

【事務局より資料1に基づき説明】

【質疑・意見】

座 長：質問意見はあるか。

参加者：視覚障がい者向けサッカーのブラインドサッカーは、現在、競技人口は少ないが、さいたま市にブラインドサッカーのチームがあるので、今後、競技人口は増えると思われる。また、ブラインドサッカーはコミュニケーション能力育成のため、社員研修等に使われるなど、さまざまな波及効果があると思う。公式戦をするにはサイドフェンスを設置しなければならないがブラインドサッカーもできるとよいと思う。

参加者：クラブハウスを敷地の真ん中に配置した理由を教えてください。

事務局：人の動線を踏まえ、敷地内の各施設に行きやすい場所として敷地の中央に配置した。

参加者：クラブハウスの位置によっては、より広いスペースが作れて敷地を有効活用できるのではないか。

事務局：現在は市民が交流できるように動線の交わる中央にクラブハウスを配置しているが、今後、事業者選定の際に民間事業者からの提案内容によって異なる配置となる可能性もある。

参加者：民間事業者の整備や運営にあたっての自由度はどの程度なのか。

事務局：事業者には本計画で定めた施設機能の確保及び事業費を前提条件として、提案をしていただく。そのため、例えば、テニスコートは現在 5 面を想定しているが、事業者から 6 面でも可能であるというより良い提案があれば、6 面になる可能性もある。

参加者：駐輪場の台数は何台を想定しているのか。市内からのアクセスが良い立地であるため、少年サッカー等で、子どもたちが自転車で訪れると思われる。

事務局：80 台程度である。

参加者：駐車場台数はどのように算出しているのか。

事務局：フットサル 3 面とテニスコート 5 面における最大利用人数から算出している。

参加者：3on3 バasketボールの料金は無料なのか、有料なのか。

サッカーやテニスに比べ収入は見込めないと思われるが、3on3 の大会が宇都宮市で開かれた際には 3 日間で 7 万人が訪れ、4 億円の経済効果や広告の効果があったと聞いた。

3on3 に限らず、様々なスポーツ大会等の開催が市の活性化につながるのではないかと思う。

事務局：3on3 のコートは、雨水を貯めるために床面はアスファルトとし、コートラインを引くことのみを想定している。その点も含め料金は検討していく。

参加者：雨水流出抑制対策について教えてほしい。

事務局：大雨が降った時、最初に駐車場や 3on3 のエリアに雨水が溜まり、その後、砂川堀に流れることを想定している。

参加者：テニスコートは大会誘致のための要件は満たしているのか。

事務局：本施設は多くの市民に楽しんでもらえるよう、コート間を狭くし、コートを 5 面設置することとしている。

参加者：せっかく作るのであれば、大会を誘致できる方が良いのではないかと思う。

事務局：現在想定している施設でテニスの大会は開催できるのか伺いたい。

参加者：ふじみ野市や三芳町のテニスコートで大会を開催しているが、そちらのテニスコート間の詳細が分からないため、他施設のコート間を調べてはどうか。

事務局：近隣自治体の施設を確認する。

参加者：指定管理者制度を教えてほしい。

事務局：指定管理者制度とは、公共施設の運営を市が指定する民間事業者等が行う制度である。当施設は設計、建設、維持管理、運営について民間事業者からの提案を受け実施をしていく。維持管理、運営期間は 15 年としている。

参加者：事業者の提案内容によって、施設内容が変わるとのことであったが、屋根は必須であるなど、これまでの会議の中で必要であるとなったものは、必須条件としていただきたい。

参加者：クラブハウスのトイレの数は、男性より女性の方が待ち時間が長いため、女性用の数を多くしていただきたい。確保が難しい場合は、シャワー室の数を減らしても良いと思う。

参加者：男性用と女性用を切り替えられるトイレもある。

参加者：ウォーキングをする人の多くが健康志向の方であると考えられるため、敷地内のコースを周回するだけでなく、クラブハウス内のトレーニング用のスタジオ等を使ってもらえる仕掛けができればと思う。例えば、中央広場を通るコースを作るなど。また、中央広場は他のエリアが見やすい場所であるため、人が集まりやすい場所にする事で、より多くの人を利用するようになるのではないかと思う。キッチンカーはエントランスにしか置けないのか。

事務局：クラブハウスの近くにキッチンカーを置くことは可能である。

参加者：コンセプトに「いつでも」とあるように、当施設は夜も利用できるようにすることであるが、バスケットボールは音が響くため、夜になると音が気になるという話を聞いた。また、集団で「たむろ」する人もいる。この辺りの対策はどう考えているのか。

事務局：施設の運営時間は検討中であるが、3on3バスケットコートには照明をつけないことを想定している。また、「たむろ」する人に対しては、指定管理者にきちんと管理してもらうことを考えている。

参加者：要望になるが、フットサルコートに簡易のスタンドを設置していただきたい。特に、ジュニアの大会時は最大で8チーム集まるが、待機場所に関してトラブルが起きることがあるため、待機場所としてスタンドがあればトラブルを回避できる。当施設からは逸脱するが、中学校部活動の制限等でテニスコートが空いているという話を聞いており、中学校のテニスコートを再整備することで、市内のテニスコート数を確保することが出来るのではないか。近隣の勝瀬中学校のテニスコートも大会時などに利用することができる仕組みがあれば良いのかなと思う。

参加者：クラブハウスに太陽光パネルを付けるなど、環境負荷の軽減に対する考えはあるか。

事務局：市の方でも環境への配慮はしたい考えであり、事業者からの提案を受け、環境に配慮した機能を取り入れる可能性がある。

参加者：民間事業者に対して、事業期間中に事業の途中評価のようなことはするのか。

事務局：本施設では、事業の実施状況の管理を専門とした事業者へ業務委託を行い、評価を行う予定である。また、維持管理・運営については指定管理制度を考えているため、指定管理の仕組みとして、市が毎年、運営状況の評価を行うこととなっている。

参加者：施設の予約が取りにくいという状態にならないよう、予約方法等に留意する必要がある。そのため、利用者側の目線になり、予約のしやすさなども事業者選定の際の評価項目としてはどうか。

事務局：そのような視点も踏まえ、事業者選定の評価項目を検討していく。

参加者：施設の予約はどれくらい先まで可能なのか。どのような予約システムの導入を検討しているのか。

事務局：予約方法については検討中である。現在、総合体育館では3ヶ月前に市内団体に集まってもらい抽選している。その後、公共施設予約システムを使って予約が可能となっている。

参加者：スポーツとは一見関係ないと思うが、見映えのする外観を意識することで、人々に興味を持ってもらうことができ、地域が盛り上がると思う。事業者へは外観にもこだわった提案をしていただければと思う。

事務局：シティプロモーション的な観点からも施設の整備を考えていく。

参加者：フットサルコートは、昼間はほとんど利用されていないため、他の競技ができるようにしてはどうか。

事務局：フットサルコートでは、その他のスポーツの利用や、幼稚園や保育所等の運動場として使ってもらうなど利用率を上げる方法を検討していく。

参加者：施設の名称はどうやって決めるのか。

事務局：市としても名前は重要であると思っている。今後、ネーミングライツ等を視野に入れ検討していく。

参加者：多目的運動場①のコートの寸法はどれくらいか。

事務局：横幅は50m、縦幅は70mで検討している。ただし、事業者の提案内容により変わる場合もあり、必ずしもこのサイズのコートができるというわけではない。

参加者：少年サッカーの地区大会などでは横幅50m、縦幅68mを基本とされているので、最低でも横幅50m、縦幅68mはとっていただきたい。

6 その他

事務局：今後のスケジュールについて説明。

7 閉会

以上